

ASP.NET 2.0

の新機能を使いこなせ! 後編

ASP.NET 2.0で
ECサイト構築

葛西 秋雄

KASAI, Akio

有限会社フレンドリーソフト

<http://www.friendlysw.com/>

いても紹介します。

データバインド関連の 新機能について

ASP.NET 2.0では、データベースのテーブルやXMLデータをWebページに表示するために、データソースコントロールとデータコントロールが追加されました。

ASP.NET 1.xでデータベースのテーブルを表示するには、DataSetまたはDataReaderのオブジェクトを生成してDataGridなどのデータコントロールにバインドする必要がありました。

ASP.NET 2.0のデータソースコントロールはDataSet/DataReaderを代替する機能で、ADO.NET 2.0の知識がなくてもコードレスでデータベースのテーブルを表示して、レコードを追加/編集/削除することができます。

Accessの場合

Accessのテーブルを表示するには、AccessDataSourceコントロールとGridViewコントロールを使用します。AccessDataSourceコントロールには、テーブルからレコードを抽出するSELECTステートメント、レコードを編集するUPDATEステートメント、レコードを削除するDELETEステートメントが格納されます。これらのSQLステートメントは、AccessDataSourceコントロールの「データベースの構成ウィザード」の指示に従うだけで自動生成されます。

AccessDataSourceコントロールのDataSourceModeプロパティには、「DataSet」「DataReader」のいずれかを設定することができます。

既定値は「DataSet」です。DataSou

はじめに

前回に引き続き、今回の後編ではVisual Web Developer 2005 Express (以下VWD 2005) を使ってECサイト「ドットネット書店」(図1) を構築しながら、以下の新機能の使い方について解説します。

- ・データバインド

- ・テーマ/スキン
- ・Webメール

ASP.NET 2.0ではモバイル関連の新機能は追加されていませんが、メンバーシップ/ロールなどのAPIを利用することによりフォーム認証などのセキュリティ機能を容易に組み込むことができるようになりました。後編では、これらのAPIを使用してモバイルサイトにフォーム認証を組み込む方法につ

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

- Visual Basic

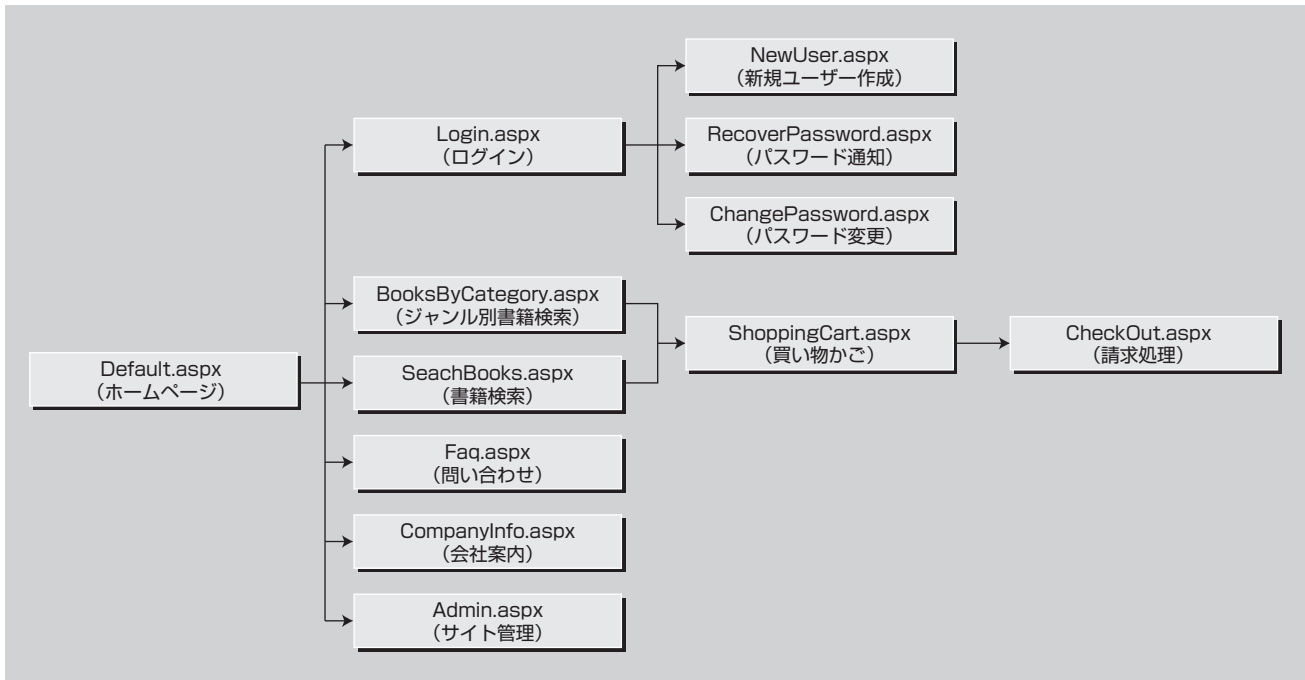
ツール >>> Tool

- Visual Web Developer 2005 Express
- ASP.NET 2.0
- SQL Server 2005 Express
- Amazon Web サービス
- FreeTextBox 3.1.2
- iモードHTMLシミュレータII

サンプル >>> Sample

この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、
<http://www.shoeshisha.com/mag/windev/>
からダウンロード可能です。

図1：ドットネット書店のWebページ構成



rcModeプロパティを「DataSet」に設定すると、GridViewに表示されているレコードを並べ替えたり、ページングすることができます。

DataReader型のデータソースコントロールは、DropDown List、ListBoxなどのリスト系コントロールにデータベースのテーブルを表示するのに適しています。ただし、「DataReader」に設定したときは、並べ替えとページング機能が利用できませんので注意してください。

SQL Serverの場合

SQL Serverのテーブルを表示するには、SqlDataSourceコントロールを使用します。SqlDataSourceコントロールでは、テーブルをキャッシングする機能がサポートされています。キャッシング機能を利用するにはDataSet型のSqlDataSourceを作成します。

なお、SQL Serverでは、テーブルが変更されたときにキャッシュを無効にして自動的にテーブルをリフレッシュする機能もサポートされています。

XMLデータの場合

XMLデータを表示するには、SiteMapDataSourceまたはXmlDataSourceコントロールを使用します。

SiteMapDataSourceコントロールは、Menu、TreeView、SiteMapPathコントロールにサイトマップファイルをバインドするときに使用します。XmlDataSourceコントロールは、XMLデータをTreeViewコントロールなどにバインドするときに使用します。

「ドットネット書店」では、書籍データをアマゾンのWebサービスを利用してGridViewに表示します。Webサービスのプロシキラス経由で取得したデータをGridViewに表示するには、ObjectDataSourceコントロールを使用します。

ジャンル別に書籍を一覧表示

「ドットネット書店」のトップページ(Default.aspx)左側のツリー型メニューから書籍のジャンルを選択すると、ジャンル別に書籍が一覧表示されます。これは、BooksByCategory.aspxがロードされ、クエリ文字列として書籍のジャンルが渡されるという仕組みになっています。たとえば、ツリー型メニューから「ASP.NET」を選択すると「BooksByCategory.aspx?cat=ASP.NET」というクエリ文字列が渡ります(図2)。

アマゾンのWebサービス経由でジャンル別の書籍を検索す